

平成28年度事業計画（案）

1. 基本方針

日本包装学会では、「包装学の深化と体系化、社会の要請に応えうる開かれた学会づくり、包装分野を担う次世代人材の育成」を主な柱に、事業を展開します。具体的事業としては、会員相互の研究情報の交換・啓発のための研究発表会、シンポジウム、各種研究会等の開催、並びに学会誌「日本包装学会誌」の刊行を行います。また、これを実現するために、以下の方針を立てます。

「産官学各分野の均衡ある活動促進」

大学等の包装関連研究領域の研究者あるいは学生の学会への関心を高めるとともに、学会の運営においても「学」の立場からの意見をこれまで以上に取り入れることができるように配慮していきます。また、企業等の研究者に対して研究成果を科学としてまとめて発信してもらえよう、「場」の構築について努力を継続します。

「学生や若手研究者・技術者に魅力ある学会へ」

若手研究者、技術者、学生会員のために、学会発表での各種優遇、表彰を引き続き充実させます。また、学会運営への参画の機会を増やします。

「国際化の推進」

学際化、国際化の推進のために、IPSを国際的な研究・技術交流の場の中核と位置づけ、IPSを活用することで国際交流活動を更に活発化させます。また、日本包装学会誌への「海外情報」の掲載をタイムリーに行うとともに、海外からの投稿を積極的に呼びかけます。

2. 学会の運営計画

2-1. 第25回通常総会

- ・ 日時:平成28年7月8日(金)
- ・ 場所:神戸大学 百年記念館

2-2. 理事会

平成28年度は、3回(うち1回は年次大会時)の開催とする。

2-3. 会長補佐会議

理事会同様、3回開催の予定とする。ただし、緊急性の高い審議事項のある場合は、メール審議を含めて臨時に開催するものとする。

3. 各委員会の活動計画

3-1. 編集委員会

- ・ 昨年度に引き続き、「日本包装学会誌」を6回発刊する。
- ・ 各号で編集責任者を決め、特集を企画する。
- ・ 「巻頭言」、「新包装基礎講座」等を連載する。
- ・ 論文投稿を学会内外へ広く呼びかける。
- ・ 委員会開催 6回開催予定

[長期活動方針] 論文投稿を学会内外へ広く呼びかける。

3-2. 企画委員会

委員会活動は年4回開催とし、市場環境変化や包装の最新技術を提供するテーマ設定の協議を行い、年3回のシンポジウムを開催予定とする。

- ・ 第70回シンポジウム 6月7日開催予定 テーマ「食品ロスと包装設計～現状を見つめ直す」
- ・ 第71回シンポジウム 10月6日開催予定 テーマ「医療現場が求める医薬品包装～医療過誤、容器、情報伝達、調剤、訪問看護～」
- ・ 第72回シンポジウム(2月開催予定) テーマ未定

[長期活動方針]

業界に対してタイムリーな話題となるテーマを設定し、魅力あるシンポジウムを開催する。シンポジウム参加者を増やし、非会員の入会を促すことで会員数の増強に貢献する。

3-3. 研究委員会

4つの研究会にて下記の活動を計画している。

- ・ バリア材料研究会:第22回バリア材料研究会を開催予定である。
 - ・ 輸送包装研究会:輸送包装ディスカッションを9月16日に神栄テストマシナリー株式会社本社(茨城県つくば市)にて開催する予定である。
 - ・ MAP研究会:年度内に研究会(講演会)を開催するとともに、会員相互の情報交換の機会を設けたい。
 - ・ 包装とICT研究会:見学会を開催する予定。
- 各幹事が集まり、今後の活動計画について打ち合わせを実施する予定。

[長期活動方針]

現在活動中の4つの研究会には今後も継続して活動していただく予定である。各研究会の活動を通じて、学会の活性化をめざす。各研究会の長期的活動方針は次のとおりである。

- ・ バリア材料研究会:米国、欧州、日本/アジアの各極にメンバーと拠点を持つ強みを生かした情報交換や人材交流。
- ・ 輸送包装研究会:輸送包装ディスカッションなどの情報交換や人材交流の場を提供。
- ・ MAP研究会:最新技術情報の発信と論文投稿の推奨。
- ・ 包装とICT研究会:「情報ITネットワーク社会における包装」という切り口から、モノのインターネット、クラウドコンピューティングを含めて包装の新領域を開拓する技術者の支援をしていく。

3-4. 大会運営委員会

第25回年次大会を神戸大学において開催する。包装の各分野で活躍されている研究者・開発者が日頃の研究成果を発表し、活発な議論を通じて互いに切磋琢磨することで、包装学・包装産業の発展寄与できる大会とすべく準備を整えていく。

- ・ 委員会 8回開催(予定)

25回年次大会

- ・ 会期:平成28年7月7日、8日
- ・ 会場:神戸大学 百年記念館 六甲ホール他
- ・ 発表予定数:56件(口頭発表35件 ポスター発表21件)
- ・ 特別講演1件:宇宙開発協同組合SOHLA 杵本 日出夫様
- ・ その他:受賞講演

[長期活動方針]

年次大会のさらなる活性化。発表者数、大会参加人数を増やすため、アンケートなどの実施を通じて参加者の意向を把握し、より参加しやすい大会の開催を目指す。学生等、若手の積極的な参加啓発。

3-5. 広報委員会

・インターネット関連

費用削減の観点から本年度は定型のホームページ更新作業、メール配信作業に絞って活動することを原則とする。ただし、各委員会から要望が発生した場合は、予算を別途申請することで柔軟に対応していく。

・東京パック対応

平成28年10月開催の東京パックに出展し、書籍・資料の販売を行う。

・包装アーカイブス

アーカイブスホームページの内容充実を検討し、アーカイブス委員会休止のフォローを行っていく。

[長期活動方針]

ホームページの改善活動を中心に情報の発信を強化し、会員へのサービス提供と会員増強に継続して努めていく。

3-6. 包装アーカイブス委員会

現時点で25件が学会誌に掲載され、24件がホームページに公開されている。予定していた執筆者による掲載が完了しており、新規追加の計画も未定であるため、28年度以降、アーカイブス委員会の活動を休止する。今後の活動のフォローは広報委員会にて行う。

3-7. 国際交流委員会

メール審議を主として、以下の活動を実施していく。

- ・ 「海外情報」の学会誌掲載
- ・ 韓国包装学会との交流継続
- ・ 海外の研究者から学会誌への投稿推進
- ・ 平成29年に予定しているIPS'17の企画

3-8. 学会賞等選考委員会

年度末までに、学会賞、奨励賞、論文賞、功労賞について、授賞選考を行う。

3-9. 財務委員会

支出削減による収支バランスの健全化を図る。毎月の財務状況確認による健全な財務運営。各委員会活動を支援可能な予算の作成。

3-10. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として、効率的な学会運営を進める。学会活性化、財務健全化に向け、会長補佐会議、理事会での討議を進めていく。

以上